

草津市指定管理者選定評価委員会議事概要

開催年月日	令和元年9月27日(金)	開催時間	午前9時から 午後0時まで
出席者	委員6名、施設担当職員3名、事務局4名 各申請団体		
傍聴者	1人		
付議事項	指定管理者の候補者の選定に係る意見を求めること等について 「草津市児童育成クラブ」の指定管理者の候補者の選定		
<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より本日のスケジュールの説明 <p>2 「草津市児童育成クラブ」の指定管理者の候補者の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課より施設概要等説明 ・申請者プレゼンテーション① ・質疑応答 ・申請者プレゼンテーション② ・質疑応答 ・申請者プレゼンテーション③ ・質疑応答 <p>3 審議</p> <p>4 事務連絡</p> <p>5 閉会</p>			

- ◆令和元年度末で指定期間満了を迎える施設において、申請のあった団体（以下「申請者」という。）が指定管理者として適任かどうか審議を行った。
- ◆今回、児童育成クラブ「のびっ子」全14施設に対し、9事業者から延べ21の申請があった。また、6施設において複数の応募があった。のびっ子の運営については、14施設共通の仕様書となっており、基本的に施設の管理・運営については同一の基準で、審査における視点も同一であることから、6施設に応募した事業者に対して点数を付し、施設ごとに競合した事業者間で、点数の最も高い事業者を選定することとした。なお、9事業者のプレゼンテーションとこれにかかる質疑を行うため、時間の関係上、3日にかけて児童育成クラブの選定を行うこととし、最終日に候補者の選定を行うこととした。

「児童育成クラブ」3事業者のプレゼンテーションおよび質疑

1 担当課説明

(1) 施設の概要等

募集要項記載のとおり。

のびっ子名称	開設日	開設場所	定員	建物面積	専用区画面積	施設内容	
のびっ子笠縫	S61.4.8	笠縫小学校内 草津市上笠一丁目6番2号	60	146.57㎡ 専用施設	鉄骨平屋 H14年度	保育室 84.45㎡ 静養室 7.45㎡	生活室・学習室・休憩室 ・玄関ホール・男女便所 ・多機能便所
のびっ子矢倉	S63.4.8	矢倉小学校内 草津市矢倉二丁目5番50号	90	226.14㎡ 専用施設	鉄骨平屋 H16年度	保育室 161.22㎡ 静養室 7.67㎡	生活室・学習室・休憩室 ・玄関ホール・男女便所 ・多機能便所
のびっ子玉川	H1.4.6	玉川小学校内 草津市野路九丁目6番12号	70	198.35㎡ 専用施設	鉄骨平屋 H19年度	保育室 147.11㎡ 静養室 -	生活室・学習室・休憩室 ・玄関ホール・男女便所 ・多機能便所
のびっ子笠縫東	H2.4.9	笠縫東小学校内 草津市平井三丁目8番1号	90	204.82㎡ 教室、専用施設	鉄骨平屋 H14年度	保育室 155.12㎡ 静養室 7.45㎡	生活室・学習室・休憩室 ・玄関ホール・男女便所 ・多機能便所
のびっ子志津	H5.4.8	志津小学校内 草津市青地町827番地3	120	362.27㎡ 専用施設	鉄骨平屋2棟 H12、22年度	保育室 246.47㎡ 静養室 13.52㎡	生活室・学習室・休憩室 ・玄関ホール・男女便所 ・多機能便所
のびっ子草津	H10.4.2	草津小学校内 草津市草津三丁目14番5号	60	182.22㎡ 専用施設	鉄骨平屋 H9年度	保育室 108.53㎡ 静養室 4.97㎡	生活室・学習室・休憩室 ・玄関ホール・男女便所 ・多機能便所
のびっ子常盤	H10.4.8	常盤小学校 草津市志那中町119番地	90	138.14㎡ 教室(2)		保育室 138.14㎡ 静養室 -	
のびっ子山田	H11.4.8	山田小学校 草津市北山田町350番地	100	202.50㎡ 教室(3)		保育室 202.50㎡ 静養室 -	
のびっ子南笠東	H14.4.1	南笠東小学校内 草津市南笠東四丁目4番1号	60	139.12㎡ 専用施設	鉄骨平屋 H13年度	保育室 89.43㎡ 静養室 6.00㎡	生活室・学習室・休憩室 ・玄関ホール・男女便所 ・多機能便所
のびっ子志津南	H14.4.6	志津南小学校 草津市若草二丁目16番2号	90	198.35㎡ 専用施設	鉄骨平屋 H21年度	保育室 177.23㎡ 静養室 4.72㎡	生活室・学習室・休憩室 ・玄関ホール・男女便所 ・多機能便所
のびっ子渋川	H19.4.1	渋川小学校前、福複々内 草津市西渋川二丁目9番38号	70	201.85㎡ 専用施設	鉄骨3階建 H18年度	保育室 143.08㎡ 静養室 12.18㎡	生活室・学習室・休憩室 ・玄関ホール・男女便所 ・多機能便所
のびっ子大路	H21.4.1	大路市民センター内 草津市大路二丁目9番11号	90	189.07㎡ 専用施設	鉄骨3階建 H20年度	保育室 140.48㎡ 静養室 13.54㎡	生活室・学習室・休憩室 ・玄関ホール・男女便所 ・多機能便所
のびっ子老上	H23.4.1	老上小学校内 草津市野路町517番地	90	253.48㎡ 専用施設	鉄骨2階建 H22年度	保育室 153.38㎡ 静養室 6.14㎡	生活室・学習室・休憩室 ・玄関ホール・男女便所 ・多機能便所
のびっ子老上西	H28.4.1	老上西小学校内 草津市矢橋町526番地1	120	299.95㎡ 専用施設	鉄骨2階建 H27年度	保育室 200.00㎡ 静養室 14.00㎡	生活室・学習室・休憩室 ・玄関ホール・男女便所 ・多機能便所

(2) 募集概要等

募集方法は公募によるもので、指定期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間

(3) 募集結果

児童育成クラブ「のびっ子」全14施設に対し、9事業者から延べ21の申請

(4) 審査内容

団体の運営理念、活動実績、保育理念、人材育成、子どもの安全確保を初め保護者や学校、地域ごとの信頼関係の構築、多様なサービス提供、危機管理体制、保護者との連携、サービス向上や災害発生に係る訓練、人員に関する事等の選定基準により総合的に判断

(5) 採決方法

1者のみ応募のあった施設：候補者として選定するかどうか出席委員の多数決により採決

複数応募のあった施設：各委員の採点結果を参考に、委員の多数決で候補者を選定する。

2 各申請者によるプレゼンテーションおよび質疑応答

◆申請者A（以下「A」という。）によるプレゼンテーション：略

（以下 質疑応答）

<委員（以下「委」という。）>：新しい風を吹かせたいと思っておりますとおっしゃいますが、新しい風が吹いたかどうかは誰が判断するのか。

<A>：まずは、業務を引き継ぐ前に保護者の方のヒアリングをする機会は当然設けていただけているので、保護者から「本当はこういうことをしてほしいんだ」とか、逆に「そこまでは期待していないからやらないで」というのをはっきりと聞いて、その上で4月から運営を開始をさせていただく。そして1年経ったところでアンケートをとり、そこでいわゆるマニフェストがちゃんと実現できたかどうかを審議いただければと思っている。

<委>：保育の質を向上するために具体的に何を考えているか。

<A>：必要な安全管理マニュアルや衛生管理マニュアルはあるが、保育のマニュアルというのはあえて作らないようにしている。その職員の強みを生かしたものがよりよい保育だと思っている。音楽が得意な人には音楽を実際に生かしてほしい。Aは体育分野に強いという印象をもたれがちであるが、だからといって全員スポーツが得意であるかというところでもないし、スポーツづきの学童クラブにするつもりもない。

<委>：学童保育の事業に携われてから、まだ浅いが、大きな展開をされている。工夫されたことはあるか。

<A>：子どもに関わり出したのが今からちょうど11年前になる。体育教室で子どもたちに関わる中で、保護者の方から毎日預かってもらえるような学童クラブをやってもらえないだろうかという声をもとに体现してきたのが、このNPO法人である。保護者の直の声から始まっており、私たちがこうやるんだ、それについてきなさいという運営ではなく、保護者の方が何を求められているのか、何を提供したら受け入れられるのかが私たちが考えていることである。あとは、余り学童ならではの慣習にとら

われないところである。例えば学童クラブでは、1年1回、ティッシュペーパーを1袋もっていくという慣習があったが、自分たちはその慣習に縛られる必要がないので、運営費の中で当然のようにやりくりしますというように、当たり前のことを当たり前に実現しやすい環境に体制にあるということが大きな展開で進んでいった要因の一つかなと思っている。

<委>：学童保育ではどう過ごすべきだと考えているか。

<A>：体育の活動をしたり、体育の活動に限らず専門の講師をお呼びしてダンスをやったり、学校の授業の補習的なものをやったりということもできるが、宿題は学童で済ませてきてほしいという保護者が非常に多いので、宿題、補食、学童ならではの活動という、この3つをバランスよく実施するということかなと思っている。

<委>：全国のいろんなところで事業展開されているが、草津市に來られた理由は何があるか。

<A>：私は（理事長）、前職で社会福祉法人の理事をしており、その時に草津市に縁があり、一緒に仕事をしていたのがここにいる統括責任者であった。

この統括責任者が当時、小さな学童クラブの一職員をしており、草津市の学童全体をよりよくしたいという思いがあり、統括責任者がいる草津という場所で1つの施設整備が始められたと思って手を挙げたのが民設の南笠東の学童クラブである。

<委>：旧の事業者から引き継いでの運営についての難しさはあるか。

<A>：継続雇用した職員に限らず、保護者の方も子どもたちも3月31日までは別の事業者もしくは公営であり、そこから私たちに切りかえるという難しさがやはり1番だと思う。

職員としては、今までここまでやってなかったのに、何でやらないといけないのという声も当然出るし、場合によっては保護者の方もゆっくり落ちついて過ごしてくれたら、それでいいんだという方も当然おられるので、それでもやりたいところはちゃんと説明をしなければいけないし、でも、地域性を考えたら、やらないという選択をしなければならぬと決めていくのも難しいところである。

<委>：今回応募された6つの施設については、人口が増えているところというところで、やはり興味関心度が高いというふうに理解していいか。

<A>：私たちが南笠東を民設学童でやっており南笠東小学区と玉川小学区から受け入れをさせていただいているので、この2つの学童を選定したが、そのように御理解いただいて構わない。

<委>：有資格者をすごく集めているのは、ハローワーク等に求人を出すときに、そういうものを前面に出しているのか。

<A>：有資格者がすぐ来る可能性が低いときもあるため、いわゆる資格取得の支援もハローワーク等に打ち出すことがある。働きながら資格取得ということもやっていながら、既存の運営施設で後進を育てていくというのも同時進行で行っており、こういった新たな指定管理者者の募集の機会があった時に、施設を1人で切り盛りしてみたいんです、という方を雇用しているというのものもある。

<委>：年齢構成はどのように考えているか。

<A>：理想としては、保育は経験が長ければ長いほどいいと思ってるので、15年から20年の経験がある方が施設の中に1人おられて、統括的な責任者をやっていた

いて、保育経験が少ない方であったり、初めての方、保育経験あるけれども時間的に短く働きたい方をバランスよく配置するという形が良いと考えている。

◆社会福祉法人草津保育園（以下「草津」という。）によるプレゼンテーション：略
（以下 質疑応答）

<委員>：心の成長がものすごく大事とありますが、一番最優先で取り組んでいくということがあれば。

<草津>：しゃべらない子でもとにかく声をかけ、帰りはさようなら、おやつもらうときはありがとうと、どんどんとしゃべっていくことによってその子の心をどんどん成長させていくようにしている。

日々6名から8名は指導員がおり、世代も様々なので、この子やったらこういう感じの先生が得意であるというところで割り振りながら、心を開かせて、いろんな人としゃべってもらうところを一番に思っている。

<委>：職員の保育の質を高めるために研修が必要だと思うが、どういう研修を特に取り入れられて、どれぐらいの頻度でされているか。

<草津>：市の方が決めていただいている発達、遊び、保護者との関わりに関する研修等にはほぼ全員が参加させていただいている。

<委>：保護者との連絡帳の意味や効果は。

<草津>：近年祖父母のお迎えの量がすごく増えており、保護者への連絡事項を連絡帳に書かせてもらったり、確実にお便りをもらっていただけるように連絡帳の袋に入れるといったもの、また、保護者からのお休みの日の連絡を書いていただくというように活用出来ている。

<委>：矢倉小学区の地域性として感じることはあるか。

<草津>：地域性は特に感じていない。2名の指導員が地元の方なので、とてもいい形で子どもたちに携わっていただいている。

◆社会福祉法人あさひ保育園（以下「あさひ」という。）によるプレゼンテーション：略

（以下 質疑応答）

<委>：苦情対応であるが、申請書に施設にとってのマイナスと書いてあるが、施設にとってのマイナスの部分とはどのようなことか。

<あさひ>：例えば、保護者の方とコミュニケーションが密に取れていない状態で苦情が発生することが多いが、そういった場合に保護者の間で、どんどん話が広がっていったら実際の話とは違うものになっていく場合があるので、スピード感をもって解決するという心を心がけている。

<委>：民設のクラブの取組について研究しているか。

<あさひ>：英語に特化したり、利用時間を延ばせることが大きな強みであり、この部分で民設を選ばれる方は非常に増えている。また、保護者会を楽しんでくださる保護者の方もいらっしゃるが、働いているのでそういった負担をしたくないと思われる方もいらっしゃる、民設は保護者会がないところがあるので選ばれるというような現状もあると思っている。

<委>：けん玉が、どの子でも参加しやすいとおっしゃっていたが、テストやコンテストみたいなものを行っているのか。

<あさひ>：児童育成クラブ内で発表会みたいなものは年2回ほどさせていただいている。また、立命館大学の学生のサークルで、けん玉が全国レベルでうまい方がいらっしやって、定期的に来ていただいている。できれば、ほかのところでも発表できる機会を今後検討していければと思う。

<委>：過去の利用者とのつながりがあるか。

<あさひ>：定期的に来てくれる中学生が沢山いて、バレー教室であったりバスケットボール教室に教えに来てもらう時もあり、嬉しく思っている。

<委>：これまで指定管理者として業務をしてきた中で改善すべき点はあるか。

<あさひ>：保護者の方と一緒にする取組については、保護者によってはすごく好きな方と、すごく抵抗がある方がいらっしやって、ここがネックになって選ばれる、選ばれないっていうのを決めていらっしやる方が多い。私どもはどちらかというと保護者活動が多く、保護者の会の活動はしたくないけども、当法人で保育はしてほしいという人たちから、毎年一定数相談は受けるが、今まで成り立ってきたものなので一気に変えるわけにはいかないというような回答をし続けてきたが、そういった要望は今後聞いていくべきかなという思いもある。

<委>：地域交流はどの範囲でどんなことをされているか。

<あさひ>：地域交流としては、近隣の市民センターとのつながりがあるので、そちらにお声がけして、いろんな人に来ていただくであったり、敬老会的な催しがあると、団体の方々と一緒に協力して子どもたちと高齢者が接する機会を設けることもある。